

## ①市役所庁舎の建て替え

- ・ 市民参加で検討できるのは市の示したプランから外れない範囲でなのか。
- ・ 人口減少・税収減に向かう中、他の公共施設全般にハコモノを新たにつくるところを検討すべき。
- ・ 市長が幾つかの場所に市役所の機能を作ると話していたが、示されたプランにそのようなものはない、どうするのか。
- ・ 2020年のオリンピックに間に合うようにして欲しい。
- ・ 2020年以降の建築業会が落ち着いたらすぐ着工して欲しい。
- ・ まず、いつ建て替えなのか、はっきりさせて欲しい。
- ・ PPP、PFI など官民協働の手法の違いによるメリット、デメリットをはじめ、市民が決めるなら決められるだけの材料（資料）を市民へ提示して欲しい。
- ・ 市民が50人いれば50の意見がでるけれど、どうまとめるのか。
- ・ 市民に決めてもらうというが、決めたら市長は責任を持って実行してくれるのか。（この部分に不信感を感じている）
- ・ 説明を聞いて、耐久性が問題なのか、建て替えの理由がよくわからない。
- ・ 建て替えが必要に迫られていることはわかるが、どこに建てるかは別の話。
- ・ 一番よい方法で進めてほしい。大いに賛成である。
- ・ 1967年に建てて50年が経過しているから建て替えるとのことだが、建て替えるときは耐用年数も考えた建物にするべきである。土地の問題を考えると現在の場所での建て替えの方法しかないのではないか。文化発祥の場になるような建物にしてほしい。
- ・ 方向性としては建て替えのようだが、今回テーマにしているのであれば、もう少し具体的な内容を教えてほしい。高層なのか低層の建物なのか。

- ・ 限られた場所で駐車場のことを考えると、中高層の建物になるのではないか。
- ・ 市の計画通りになかなか進んでいかないことが多すぎるのではないか。リモテラスにしても香流川計画にしてもどうなっているのか。
- ・ 市民が納得できるようにみんなの意見を聞いてほしい。愛知医科大も近くにあるので、現在の場所での建て替え、Cプランに賛成。
- ・ 調整区域だから建てられないとかではなく、将来を考えた計画を立てるべきである。県を納得させるくらいの意気込みで取り組んでほしい。
- ・ 急に動き出した感がある。市民への周知がないまま市役所のプランが先行して進められている。
- ・ 人口増、旧街区、新街区、グリーンロードや東名高速道路で隔てられた街、イオンやIKEA 周辺の発展もしていく中、現在の長久手のデータ分析を行い、市のニーズに合った市役所機能と市民の納得のいく説明が必要と思う。
- ・ 高層はやめて頂きたい。長久手の街並みに似合う建物でお願いします。
- ・ 育児に関する事や高齢者、障がい者の福祉に関する事、教育に関する事の機能をもつ施設を一緒に作ってほしい。
- ・ まず場所が大事だと思う。最適な場所、土地を選ぶことが大切だと思う。
- ・ 高さはやはり高層は良くない。長久手の街並みに合った低層が良いし、高齢者、障がい者などの福祉の面でのバリアフリーの観点からも使いやすい。
- ・ 災害に強い庁舎であるべき。陣頭指揮を執る庁舎が潰れてしまつては元も子もない。
- ・ 庁舎の面積や間取りは人口や諸々の書籍、台帳、書類などのデータ保管機能を含め算出してはどうか。
- ・ 市街化調整区域で難しいという話もあったが、調整区域を外す方法もある。そ

これから検討してはどうか。

- ・なぜ市役所建て替えが必要なのか、どんな市役所が必要でこんな市役所が必要になった、そこからの市民への理解を求めるなど、ストーリーを整理して進めて頂きたい。
- ・市役所としてだけでなく何でも利用できる施設にしてほしい。
- ・場所は一度白紙に戻して考えて頂きたい。
- ・新市庁舎の在り方について、十分に時間を掛けて検討して欲しい。
- ・市民が行きやすく、利用しやすい場所が良いと思う。車でしか行けないような場所はこれからの時代にふさわしくない。例えばリニモで利用できる場所ならば、市役所を基点にして市内を走っているN-バスの財政的な負担も減る。N-バスは毎年1億使っている。その分を鑑みてはどうか。
- ・やはり災害に強い庁舎であるべきであると思う。
- ・生まれてから長久手、岩作に住んでいる。やはり市役所は岩作にあってほしい。
- ・市が洞地区にはNピアのような施設を作るべきであると思う。それ以外は市役所で手続きすれば良いと思う。
- ・各小学校区に共生ステーションを作るならば、その中に併用してNピアのような機能を持たせれば、合理的で予算を押さえることができる。
- ・上郷地区、岩作地区、長湫地区にひとつずつNピアのような機能をもった支所を作ると良い。
- ・共生ステーションを整備していくなればそれを使う手段もある。
- ・渋滞問題もあって市役所へ来ることが大変になった、各地域の人口分布を調べて、支所を作ってほしい。リニモの各駅に作る手段もある。
- ・岩作から市役所を持っていってしまうと、岩作には何もなくなってしまう。人

も来なくなる。岩作が寂れてしまう。やはり岩作が良い。岩作の今の場所で建替えて欲しい。

- ・ これからの時代は、箱モノではなく、出向いていく行政サービスが必要であると思う。
- ・ 市全体を考えると、やはり長久手中央、イオンの辺りが良いと思う。

## ②教育環境・学校へのエアコン設置

- ・ 「今の時代、つけばいい」が、全員一致の意見でした。
- ・ なぜ、今までつけずに何度も夏を迎えたかの根底に、市の非科学的（贅沢だ、我慢出来る、木を増やせば…）な主張がある。温暖化の状況やエアコンの設置率など数字で根拠を示すべきである。
- ・ 地球温暖化の現在において、子ども達の育成の面からも、暑いから汗をかけたかの精神論の時代ではない。
- ・ 特別室には設置してあり、普通教室には設置していないとのことだが、大人と子どもの違いは何か。全室に設置すべきである。
- ・ 他市町に先駆けても付けるべき。温度設定を決めて、稼動を調整する。27度～28度に定義づけをし、子ども達に教育の一環として教えることにもなるのではないか。
- ・ 子ども達の見解も聴く必要がある。大人達が付けたいと言っているだけで、子ども達はどう思っているか。ランニングコストは建物の構造によっても変わってくる。
- ・ 温暖化が進む現在、全教室に設置してほしい。教育環境を考えても付けるべきである。
- ・ 尾張旭市では、市長の公約で小中学校全教室に付けるということで、議会にも承認を得ている。補助金を活用して設置した。
- ・ 北中学校の植樹の時に、木の植えすぎで現在ひどいことになっている。管理がされていない。市内全域でも植栽が多すぎて、風の通りが悪くなっており、温暖化にもつながっていると思う。木を植えればいいのかという問題ではない。しっかり管理をしなければいけない。

- ・ 地域によってはP T Aが費用を負担するから付けて欲しいという要望もある。
- ・ エアコンは家庭では当たり前普及している、熱中症の危険もあるので近隣市町で付けているなら長久手市もそれにならうべきである。つけない理由がない。  
→ (その場も概ね合意)

#### その他

- ・ ニコチンタール汚染に関わるタバコの害改革及び、自動車のディーゼル排気ガス汚染による血管の目詰まりから起こる血流不良、酸素不足からなる慢性閉塞性肺疾患 (COPD)、肺気腫や肺がん等、次世代高齢者の福祉的予防の観点から医療と事業者の構造改革を求めたい。具体的には原子力政策への対応と同時に「JT たばこ産業廃止法案」と、「能動喫煙者とヘビースモーカー対応強化事業法案」、「がん医療福祉強化法案」を要望する。
- ・ タバコの被害に関する政策を進めて欲しい。たばこ税をタバコ害に有効に使ってほしい。

### ③地域共生ステーションの整備

- ・ 「北のステーション」整備は、待ち遠しいままに延期されている。平成 31 年完成予定になったが、北小校区共生ステーション建設予定地の旧北保育園園舎は放ったらかしで草ぼうぼうの状況になっている。きちんと管理してほしい。
- ・ ステーションの運営で、「管理はいずれ地域で…」と言われているがそんなことができるのか。
- ・ 待ち合わせできるように、名称、場所、看板設置などはっきりさせて欲しい。グーグルマップ上できちんと載る形にしてほしい。
- ・ 各小学校区に1つ本当に必要なのか、集会所の利用で良いのでないか。
- ・ 「連合会費をもらって連合会は運営されているが、まちづくり協議会は市からお金が出て同じことができるとなるなら連合会はいらない」とならないか。合点がいかない。
- ・ 市が洞小学校区共生ステーションでは、土曜日午前中の会議利用が主となっている。今後の利用状況はわからない。
- ・ 段の上自治会は、自治会ができた当初は76軒ほどであったが、現在は300軒ぐらいある。自治会の加入率は60%ぐらい。説明の中で、共生ステーションの管理は、将来的には、ボランティアが行ってほしいとのことであったが、現在では70歳代の方までは働いている人が多い。北小学区共生ステーションの管理はどうしていくのか。管理を地域ボランティアで行うのは難しいと思う。地元の意見を十分に聞いてほしい。
- ・ 西小校区共生ステーションを会合でよく利用しているが、地域子ども達もたくさん来ていて、交流という意味では、ステーションは非常によいと思う。早く他の地域にも作ってほしい。

- ・ 共生ステーションの役割を明確にしていけないといけない。
- ・ 活用方法の多様化も考えてほしい。家族葬までできるようになればよい。

## その他

- ・ プロバスケットチーム「Bリーグ」を招致できるような、5,000人を収容できる規模の体育館を作って欲しい。市民が老若男女問わず熱中できるのはスポーツであり、鹿島市が全国的に有名になった理由はプロサッカーチーム「鹿島アントラーズ」のお蔭である。国内で競技人口が最も多いのがバスケットボールであり、1部リーグチームはアリーナ規模の体育館の確保で苦労しているが、5,000人程度の体育館であれば、長久手市で運営できるのではないか。またリニモ駅近くに設置すれば、リニモの乗車率も上がるのではないか。